



## 「他者に頼れる力」

栃木県立小山北桜高等学校 教諭 稲見 敬

私が社会教育主事講習を受講したのは、1994年、RADIO BERRY栃木が開局した年で、もう30年以上も前のことになります。受講後に「アカデミア栃木」の事業として、『ワープロ講習』と『プリンター製作』といった講座を企画しました。講座づくりには、内容の検討、広報の方法、開催期間の設定など、考えるべきことが実に多くありました。実際に開催するためには、様々な人の協力が欠かせませんでした。自分一人で行うことには限りがあり、周囲の力を借りながら形にしていくことの大切さを強く実感しました。

生涯学習を取り巻く環境は、オンライン化の進展や地域のつながりの変化などにより、一層複雑で多様になっていきます。学習ニーズも、高齢者の健康づくりから子育て世代のスキルアップまで幅広く、従来の方法だけでは対応しきれない状況が生まれています。だからこそ、何でも自分で抱え込むのではなく、必要なときに他者の力を借りられることが、大切な力になっていくのだと感じています。



## 生涯学習研究会第2回研修会報告 〔下野市石橋公民館にて〕

1月27日(火)に開催した生涯学習研究会第2回研修会(下都賀地区ふれあい学習ネットワーク)では、「子どもが『居たい』『行きたい』『やってみたい』と思える居場所づくり」をテーマに研修を実施しました。当日は、学校や社会教育施設、福祉、地域の子どもの居場所づくりに関わる方など多様な立場の方々に御参加いただきました。

講演では、文教大学の青山鉄兵准教授を講師にお迎えし、家庭や学校、地域社会の構造が変わる中で、一部の子どもたちが安心していられる場所を見つけにくくなっている現状や、その背景について、分かりやすくお話しいただきました。「支援臭、教育臭(“助けてあげよう”、“教えてあげよう”としすぎること)」「うっかり居場所になっている(気が付いたら居場所になっている)」などのキーワードが多く示され、参加者一人一人が居場所のイメージを具体的に思い描きながら理解を深めました。アンケートでも肯定的な回答が大変多く、満足度の高い講演となりました。

意見交換では、立場の異なる参加者同士が気軽に意見を交わしながらネットワークを広げることができました。

## 令和7(2025)年度ふれあい学習推進会議(全4回)について

「『こどもの居場所づくり』～公民館が多様な子どもの多様な居場所になるために～」をテーマに、各市町の公民館、生涯学習主管課、子どもの育ちに関わる行政・民間団体の職員によるふれあい学習推進委員とともに、全4回の協議と学びを実施しました。推進会議では子どもの居場所の課題整理、視察や子どもの声を聴くためのアンケート案検討、各公民館のSWOT分析等を通して子どもの居場所づくりへの理解を深めてきました。次年度は、子どもの「結果としての居場所」づくりを進めるため、子どもの声と各公民館“ならで”を生かした取組を実践する予定です。



発行  
事務局

下都賀地区生涯学習研究会 ホームページでもご覧いただけます。 ふれあい学習課 情報誌・機関紙 で検索してください。

下都賀教育事務所ふれあい学習課内 TEL 0282-23-3422

E-mail shimotsuga-hureai@pref.tochigi.lg.jp



二次元バーコード